

## 「神さまの声を聞いたサムエル」

### <ページ1>

神さまが「サムエル！サムエル！」と呼びました。  
そしてサムエルは「話してください神さま。私は聞いています」と答えました。

### <ページ2>

新しい単語

Voice (声)

私が話すとき、わたしは「声」を使って話します。

Person (人)

あなたは「人」です (男の子、女の子、みんな「人」です)。

### <ページ3>

手を耳の後ろにおいて耳をすませてください。  
だれの声が聞こえますか？

### <ページ4～6> : 【音声の流れます】

### <ページ7>

1) いしかわ先生  
2) まなべ先生  
3) いのうえ先生  
の音が聞こえましたか？

### <ページ8>

豆知識 (まめちしき)

私たちはお腹にいるときからお母さんやお父さんの声を知っています。

### <ページ9>

「お母さんの声聞こえてるよ！」

### <ページ10>

私たちは大好きな人の声を聞くと  
…うれしいきもちになります  
…あいをかんじます  
…あんしんします

<ページ11>

ある男の子のお話が聖書（せいしょ）には書かれています。  
男の子の名前はサムエルといいました。

<ページ12>

「サムエル！」  
ある夜、サムエルは神さまが自分の名前を呼ぶ声を聞きました。

<ページ13>

しかしサムエルはその声が神さまの声だと知りませんでした。

<ページ14>

サムエルはこの声はエリの声だと思いました。  
そこでエリのところへ行って  
「エリ！僕のことを呼びましたか？」とたずねました。

<ページ15>

「なんだね？」とエリは言いました。  
「ぼくのこと呼んだでしょ？」とサムエルは答えました。  
「いいや、呼んでいないよ」「もう寝なさい」とエリはサムエルに言いました。

<ページ16>

そこでサムエルは自分の部屋にもどって、またねることにしました。

<ページ17>

しかしまた同じことがおこりました。  
なぞの声：「サムエル！」  
サムエル：「エリ、ぼくのこと呼んだでしょ？」  
エリ：「呼んでいないよ。もう寝なさい」

<ページ18>

そしてまた同じことが・・・  
なぞの声：「サムエル！」  
サムエル：「エリ、ぼくのこと呼んだでしょ？」  
エリ：「呼んでいないよ。もう寝なさい」

### <ページ19>

そしてエリは思いました「サムエルに聞こえた声はきっと神さまの声だ！」  
そこでエリはサムエルを呼んで言いました。

「次にその声がまた聞こえたら

“話してください神さま。私は聞いています” と答えなさい」

### <ページ20>

そこでサムエルはベットにもどってしずかにしていました。  
サムエルは耳をすませて声がまた聞こえるのをまっています。

### <ページ21>

「サムエル！」

「話してください神さま。私は聞いています」

### <ページ22>

「サムエル！」

「神さまこんにちは！いっしょにお話しましょう！」

それからは神さまが「サムエル！」と呼ぶと

サムエルはそれが神さまの声だとはっきりわかるようになりました。

### <ページ23>

私たちはふあんになったり、こわくなってしまうことがあります。

そんな時に神さまの声に耳をすませてその声を聞くと

うれしくて、あんしんで、あいがいっぱい気持ちになることができます。

### <ページ24>

みんなは、私たちもサムエルのように神さまの声が聞けるって知っていましたか？

### <ページ25>

いっしょにうたいましょう【ベラン先生が歌う歌が流れます】

### <ページ26>

おわり